

令和3年11月24日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官 佐藤 恵治

室長補佐 滝田 小百合

(担当) 成年者縦断統計企画係

(代表電話) 03(5253)1111 (内線 7592)

(直通電話) 03(3595)2322

第9回 21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）の概況

目 次

	頁
調査の概要	1
結果の概要	
1 結婚の状況	3
2 出生の状況	4
3 就業の状況	
(1) 結婚前後の就業状況の変化	5
(2) 女性の就業継続意欲と就業状況の変化	6
(3) 妻の職場の育児休業制度の有無・利用にあたっての雰囲気と 出産後の妻の就業状況	7
(4) 夫の平日・休日の家事・育児時間と出産後の妻の就業状況	7
4 職業観	8
参考	9
用語の定義	13

この結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。
 掲載場所：「統計情報・白書」→「各種統計調査」→「最近公表の統計資料」
 →「第9回 21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）の概況」
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/judan/seinen22/index.html>

調 査 の 概 要

1 調査の目的

21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）は、調査対象となった男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成24年から実施しており、今回で9回目の実施となる。

2 調査の対象及び客体

平成24年10月末時点で20～29歳であった全国（福島県の一部地域を除く。）の男女（及びその配偶者（ただし、第1回調査実施時までに把握した配偶者に限る。））を対象とし、そのうち、第7回又は第8回調査において協力を得られた者を客体とした。

第9回調査における対象者の年齢は、28～37歳である。

3 調査の期日

調査の周期 毎年1回（11月の第一水曜日）

調査の期日 第9回調査 令和2年11月4日（水）

4 調査票の種類

（1）男性票 （2）女性票

5 調査の事項

（1）男性票 …… 仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、子ども数、家事・育児時間、職業観等

（2）女性票 …… 仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、子ども数、家事・育児時間、職業観等

6 調査の方法

厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。なお、第5回調査からインターネットによるオンライン回答も可能とした。

7 調査の系統

厚生労働省 ————— 被調査者

8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、労使関係担当）において行った。調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりである。なお、本概況では、回収客体数（8,922人）のうち、第1回調査から第9回調査まで集計可能である5,864人を集計客体とした。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	4,350	3,775	2,465
（再掲）配偶者票 ^(注)	215	186	115
女性票	5,845	5,147	3,399
（再掲）配偶者票 ^(注)	91	81	52
計	10,195	8,922	5,864

(注) 第1回調査における配偶者票対象者は、第2回調査から、男性票又は女性票の対象者として調査を実施している。

(参考) 各調査回の調査客体数と回収客体数（第1回調査における男性票及び女性票の対象者）

	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回	20～29歳	38,879	31,122	80.0%
第2回	21～30歳	33,835	18,979	56.1%
第3回	22～31歳	30,741	15,326	49.9%
第4回	23～32歳	20,082	14,300	71.2%
第5回	24～33歳	16,731	11,879	71.0%
第6回	25～34歳	14,600	10,230	70.1%
第7回	26～35歳	12,353	9,456	76.5%
第8回	27～36歳	10,907	8,587	78.7%
第9回	28～37歳	9,889	8,655	87.5%

(注) 第1回は、調査員調査により実施。

9 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

(3) 「21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）」を「21世紀成年者縦断調査（平成14年成年者）」と比較する際は、それぞれを「24年成年者」「14年成年者」としている。

なお、「21世紀成年者縦断調査（平成14年成年者）」は、平成14年10月末時点で20～34歳であった全国の男女（及びその配偶者（ただし、第11回調査実施時までに把握した配偶者に限る。））を対象としたものであり、この概況では平成14年10月末時点で20～29歳であった者を集計している。

結果の概要

1 結婚の状況

第1回調査時に独身であった者のこの8年間の結婚の状況をみると、男33.0%、女48.4%が結婚している。また、結婚後の就業状況の変化をみると、女性の離職した割合は10年前と比べ、低くなっている

第1回調査(平成24年)時に独身であった者のうち、この8年間で結婚した割合は、男33.0%、女48.4%であり、独身者の割合は、男67.0%、女51.6%となっている(表1)。

また、この8年間の結婚の状況別に就業状況の変化をみると、結婚後に離職した割合は男0.3%、女16.8%となっている。これを10年前と比べると、女性の離職した割合は低くなっている(図1)。

表1 第1回調査時に独身であった者の性、年齢階級別にみたこの8年間の結婚の状況

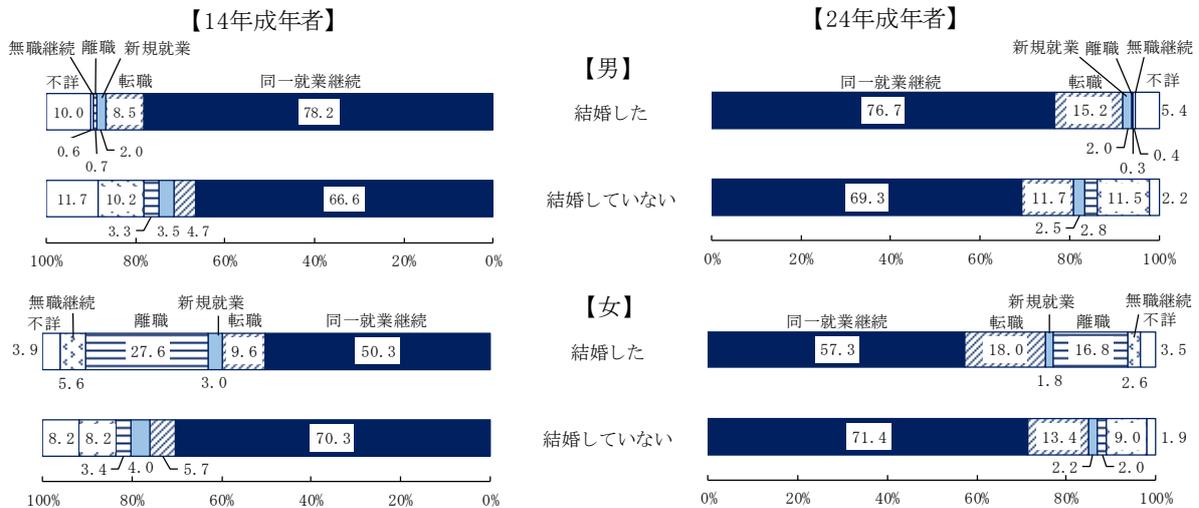
性 第1回の年齢階級 (第9回の年齢階級)	総数	結婚した ²⁾³⁾										結婚していない
		総数	第1回から 第2回間に 結婚	第2回から 第3回間に 結婚	第3回から 第4回間に 結婚	第4回から 第5回間に 結婚	第5回から 第6回間に 結婚	第6回から 第7回間に 結婚	第7回から 第8回間に 結婚	第8回から 第9回間に 結婚		
男	(100.0)	100.0	33.0	4.5	3.8	4.8	3.9	3.8	4.1	4.5	3.7	67.0
20~24歳(28~32歳)	(47.0)	100.0	28.9	0.8	2.3	3.4	3.3	4.5	4.4	5.1	5.1	71.1
25~29歳(33~37歳)	(53.0)	100.0	36.7	7.7	5.1	6.0	4.4	3.2	3.9	3.9	2.5	63.3
女	(100.0)	100.0	48.4	7.1	7.4	6.5	6.7	6.2	5.8	4.7	4.0	51.6
20~24歳(28~32歳)	(49.3)	100.0	45.5	3.6	4.9	5.4	6.8	7.0	7.1	5.6	5.2	54.5
25~29歳(33~37歳)	(50.7)	100.0	51.2	10.5	9.9	7.6	6.6	5.3	4.5	3.8	2.9	48.8

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)8年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3)「結婚した」には、この8年間に、結婚した後離婚した者を含む。

図1 第1回調査時に独身であった者の性、この8年間の結婚の状況別にみた就業状況の変化【14年成年者・24年成年者】



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)就業状況の変化は、「結婚した」は結婚前後の、「結婚していない」は第8回から第9回間の就業状況の変化である。

3)8年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

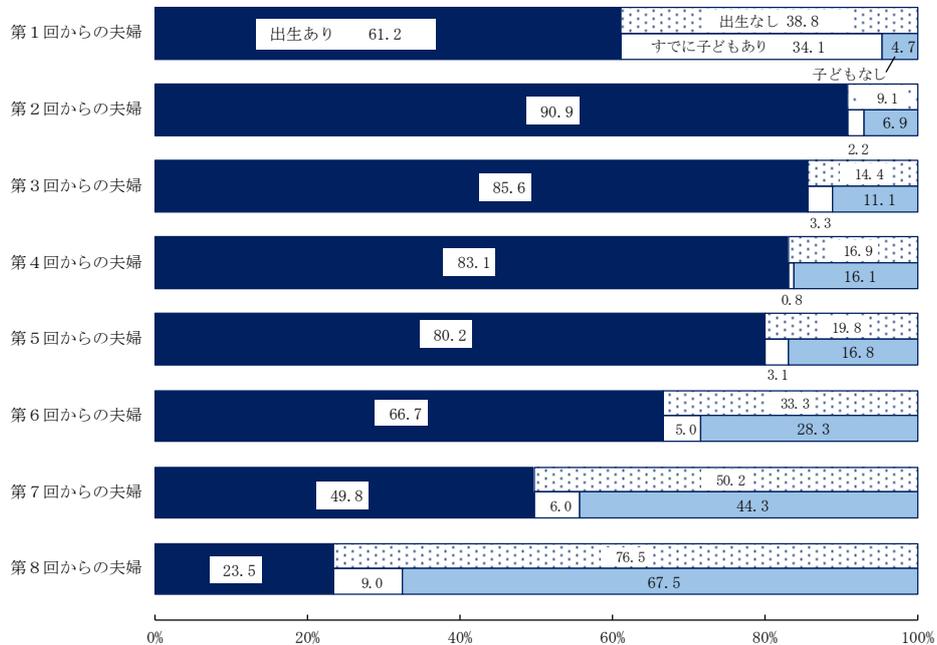
2 出生の状況

この8年間での出生状況をみると、「第1回からの夫婦」から「第6回からの夫婦」では半数以上、「第7回からの夫婦」では49.8%、「第8回からの夫婦」では23.5%に1人以上の子どもが生まれた。また、この8年間の出生の状況別に就業状況の変化をみると、10年前と比べ、出生のあった妻が離職した割合は低くなっている

この8年間に子どもが生まれた割合は、第1回からの夫婦（第1回調査時ですでに結婚していた夫婦）61.2%、第2回からの夫婦90.9%、第3回からの夫婦85.6%、第4回からの夫婦83.1%、第5回からの夫婦80.2%、第6回からの夫婦66.7%、第7回からの夫婦49.8%、第8回からの夫婦23.5%となっている（図2）。

また、この8年間の出生の状況別に就業状況の変化をみると、出生のあった妻が離職した割合は14.0%となっており、10年前と比べて低くなっている（図3）。

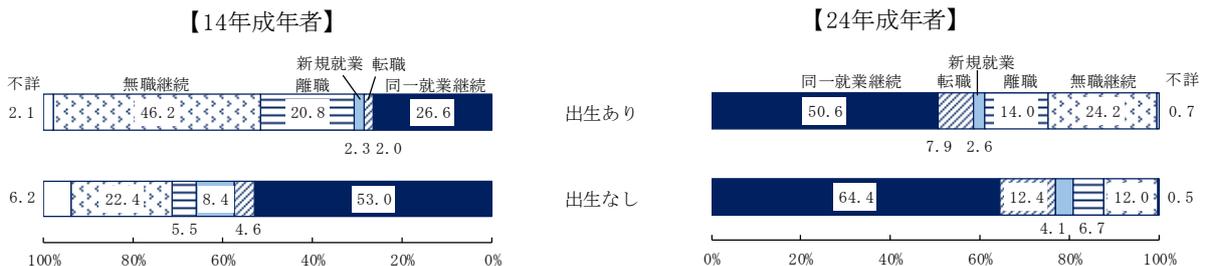
図2 夫婦におけるこの8年間の出生の状況



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)「第1回からの夫婦」とは、第1回調査時ですでに結婚していた夫婦、「第2回からの夫婦」「第3回からの夫婦」「第4回からの夫婦」「第5回からの夫婦」「第6回からの夫婦」「第7回からの夫婦」「第8回からの夫婦」とは、当該調査回に結婚したと回答があった夫婦を計上している。

図3 この8年間の出生の状況別にみた妻の就業状況の変化【14年成年者・24年成年者】



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)妻の就業状況の変化は、「出生あり」は出生前後の、「出生なし」は第8回から第9回にかけての就業状況の変化である。

3)8年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

3 就業の状況

(1) 結婚前後の就業状況の変化

結婚前後とも「仕事あり」の割合は、男 99.3%、女 81.9%。また、結婚前後とも「正規の職員・従業員」の割合は、男 94.9%、女 75.2%

第1回調査時に独身でこの8年間に結婚した者について、結婚前後の就業状況の変化をみると、結婚前に「仕事あり」で結婚後も「仕事あり」の割合は、男 99.3%、女 81.9%となっている。

また、「仕事あり」を就業形態別にみると、結婚前後で変わらず「正規の職員・従業員」であった割合は、男 94.9%、女 75.2%となっている。(表2)

表2 第1回調査時に独身でこの8年間に結婚した者の性、仕事の有無・就業形態別にみた結婚前後の状況

性 結婚前の仕事の有無・就業形態	総数	結婚後の仕事の有無・就業形態										
		仕事あり	会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での賃仕事(内職)	正規の職員・従業員	アルバイト・パート	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	その他	仕事なし	
男	(100.0)	100.0	98.8	5.7	1.9	0.3	84.5	1.6	0.3	1.7	1.0	0.7
仕事あり	(97.4)	100.0	99.3	5.7	1.9	0.3	85.2	1.5	0.3	1.6	0.9	0.3
会社などの役員・自営業主	(5.7)	100.0	100.0	61.5	-	-	33.3	2.6	-	-	-	-
自家営業の手伝い	(1.9)	100.0	100.0	7.7	84.6	-	7.7	-	-	-	-	-
自宅での賃仕事(内職)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
正規の職員・従業員	(80.0)	100.0	99.3	1.6	-	0.2	94.9	0.2	-	0.9	0.2	0.4
アルバイト・パート	(2.0)	100.0	100.0	7.1	-	-	35.7	42.9	-	7.1	7.1	-
労働者派遣事業所の派遣社員	(0.7)	100.0	100.0	20.0	-	-	-	20.0	40.0	20.0	-	-
契約社員・嘱託	(2.6)	100.0	100.0	-	-	-	61.1	5.6	-	22.2	5.6	-
その他	(0.9)	100.0	100.0	-	-	-	66.7	-	-	-	33.3	-
仕事なし	(2.5)	100.0	82.4	5.9	-	-	58.8	5.9	-	5.9	5.9	17.6
女	(100.0)	100.0	80.0	2.2	1.1	0.1	56.7	10.6	2.6	5.4	0.9	19.7
仕事あり	(94.6)	100.0	81.9	2.3	1.1	0.1	59.1	10.2	2.5	5.3	0.8	17.8
会社などの役員・自営業主	(2.3)	100.0	84.4	40.6	-	-	37.5	6.3	-	-	-	12.5
自家営業の手伝い	(0.6)	100.0	87.5	-	87.5	-	-	-	-	-	-	12.5
自宅での賃仕事(内職)	(0.3)	100.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0
正規の職員・従業員	(68.3)	100.0	85.1	1.5	0.2	0.1	75.2	5.0	0.6	1.8	0.4	14.5
アルバイト・パート	(9.9)	100.0	65.9	0.7	0.7	-	8.7	47.1	2.9	5.8	-	34.1
労働者派遣事業所の派遣社員	(2.8)	100.0	69.2	5.1	-	-	7.7	5.1	43.6	5.1	-	30.8
契約社員・嘱託	(7.3)	100.0	75.5	-	2.0	-	12.7	12.7	5.9	39.2	2.9	24.5
その他	(0.7)	100.0	90.0	-	-	-	30.0	10.0	-	20.0	30.0	10.0
仕事なし	(4.4)	100.0	41.0	1.6	1.6	-	6.6	19.7	4.9	6.6	-	59.0

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)8年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3)結婚前・結婚後の仕事の有無の「総数」「男」「女」には不詳を含み、「仕事あり」には就業形態不詳を含む。

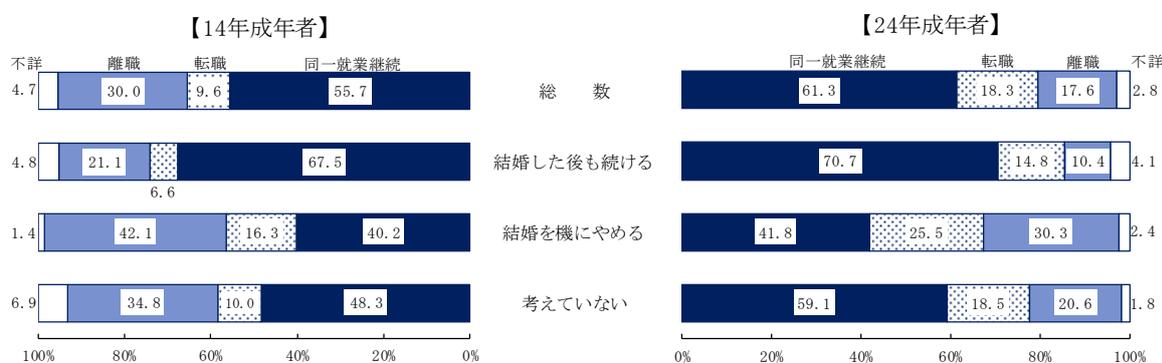
(2) 女性の就業継続意欲と就業状況の変化

この8年間に結婚した女性、この8年間に子どもが生まれた夫婦は、10年前に比べ、いずれの就業継続意欲においても「同一就業継続」「転職」の割合が高い

第1回調査時に独身でこの8年間に結婚した女性（結婚前に仕事あり）について、第1回の結婚後の就業継続意欲別に結婚後の就業状況の変化をみると、10年前に比べ、いずれの就業継続意欲においても「同一就業継続」「転職」の割合は高くなっている（図4）。

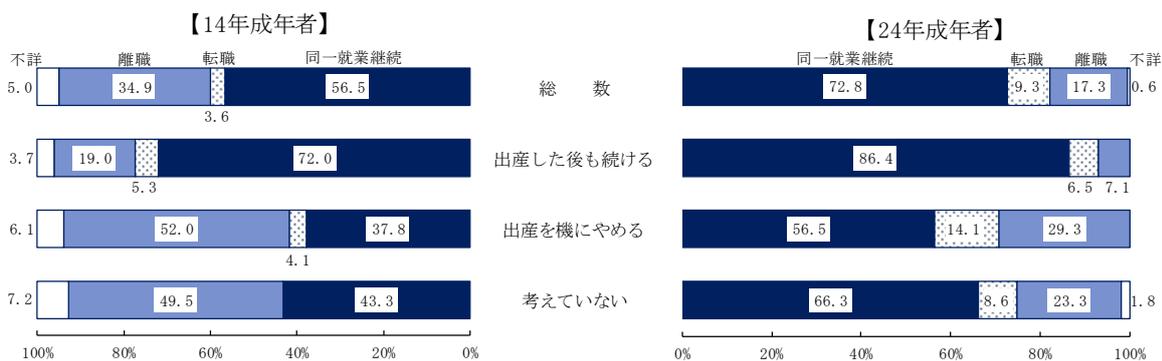
また、この8年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）について、第1回の子産後の就業継続意欲別に産後の就業状況の変化をみると、10年前に比べ、いずれの就業継続意欲においても「同一就業継続」「転職」の割合は高くなっている（図5）。

図4 この8年間に結婚した女性（結婚前に仕事あり）の第1回の結婚後の就業継続意欲別にみた結婚後の就業状況【14年成年者・24年成年者】



- 注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。
 2) 「結婚後の就業継続意欲」は、第1回調査時の状況である。
 3) 8年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図5 この8年間に子どもが生まれた同居夫婦（出産前に妻に仕事あり）の第1回の子産後の就業継続意欲別にみた産後の妻の就業状況【14年成年者・24年成年者】



- 注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。
 2) 「出産後の就業継続意欲」は、第1回調査時の状況である。
 3) 24年成年者の「考えていない」は、「続けるかどうか考えていない」「今後の出産は考えていない」と回答した者を集計している。
 4) 8年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

(3) 妻の職場の育児休業制度の有無・利用にあたっての雰囲気と出産後の妻の就業状況

育児休業制度がある場合でも、「利用しやすい雰囲気がある」方が「利用しにくい雰囲気がある」より、出産後の妻の「同一就業継続」の割合が高い

この8年間に子どもが生まれた夫婦（出産前に妻に仕事あり）について、妻の就業形態で利用可能な育児休業制度の有無別に出産後の妻の就業状況をみると、「制度あり」の方が「制度なし」よりも出産後の「同一就業継続」の割合が高く、「制度あり」の場合でも、「利用しやすい雰囲気がある」方が「利用しにくい雰囲気がある」より、出産後の「同一就業継続」の割合が高くなっている（表3）。

表3 この8年間に子どもが生まれた夫婦（出産前に妻に仕事あり）の出産前の妻の職場の育児休業制度の状況別にみた出産後の妻の就業状況

(単位：%)

育児休業制度の有無と 利用にあたっての雰囲気	出産後の妻の就業状況 ⁵⁾				
	総数	同一就業継続	転職	離職	
総数	(100.0)	100.0	70.6	9.8	19.3
制度あり	(77.9)	100.0	81.6	9.0	9.0
利用しやすい雰囲気がある	(59.5)	100.0	85.3	6.3	7.9
利用しにくい雰囲気がある	(6.4)	100.0	70.7	12.2	17.1
どちらともいえない	(10.7)	100.0	69.6	20.3	10.1
制度なし	(9.0)	100.0	13.8	8.6	77.6
制度があるかないかわからない	(11.8)	100.0	42.1	17.1	40.8

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)8年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

3)育児休業制度の有無の「総数」には、育児休業制度の有無不詳を含み、「制度あり」には、利用にあたっての雰囲気不詳を含む。

4)育児休業制度の「あり」「なし」とは、利用可能な育児休業制度があるかどうかをいう。

5)出産後の妻の就業状況の「総数」には、出産後の妻の就業状況不詳を含む。

(4) 夫の平日・休日の家事・育児時間と出産後の妻の就業状況

夫の平日の家事・育児時間が長いほど、出産後の妻の「同一就業継続」の割合が高い

この8年間に子どもが生まれた同居夫婦（出産前に妻に仕事あり）について、出産後の夫の家事・育児時間別に出産後の妻の就業状況をみると、夫の平日の家事・育児時間が長いほど、出産後の「同一就業継続」の割合が高くなっている（表4）。

表4 この8年間に子どもが生まれた同居夫婦（出産前に妻に仕事あり）の出産後の夫の家事・育児時間（平日・休日）別にみた出産後の妻の就業状況

(単位：%)

出産後の夫の家事・育児時間	出産後の妻の就業状況 ⁴⁾				
	総数	同一就業継続	転職	離職	
平日	(100.0)	100.0	69.7	10.9	18.8
家事・育児時間なし	(5.7)	100.0	50.0	11.8	38.2
2時間未満	(48.4)	100.0	68.5	12.1	19.0
2時間以上4時間未満	(30.7)	100.0	72.1	8.7	18.6
4時間以上	(10.9)	100.0	76.9	10.8	10.8
休日	(100.0)	100.0	69.7	10.9	18.8
家事・育児時間なし	(0.7)	100.0	75.0	-	25.0
2時間未満	(14.2)	100.0	65.9	12.9	20.0
2時間以上4時間未満	(22.1)	100.0	65.2	11.4	23.5
4時間以上	(59.8)	100.0	72.0	10.6	16.8

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)8年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

3)家事・育児時間の「平日」「休日」には、家事・育児時間不詳を含む。

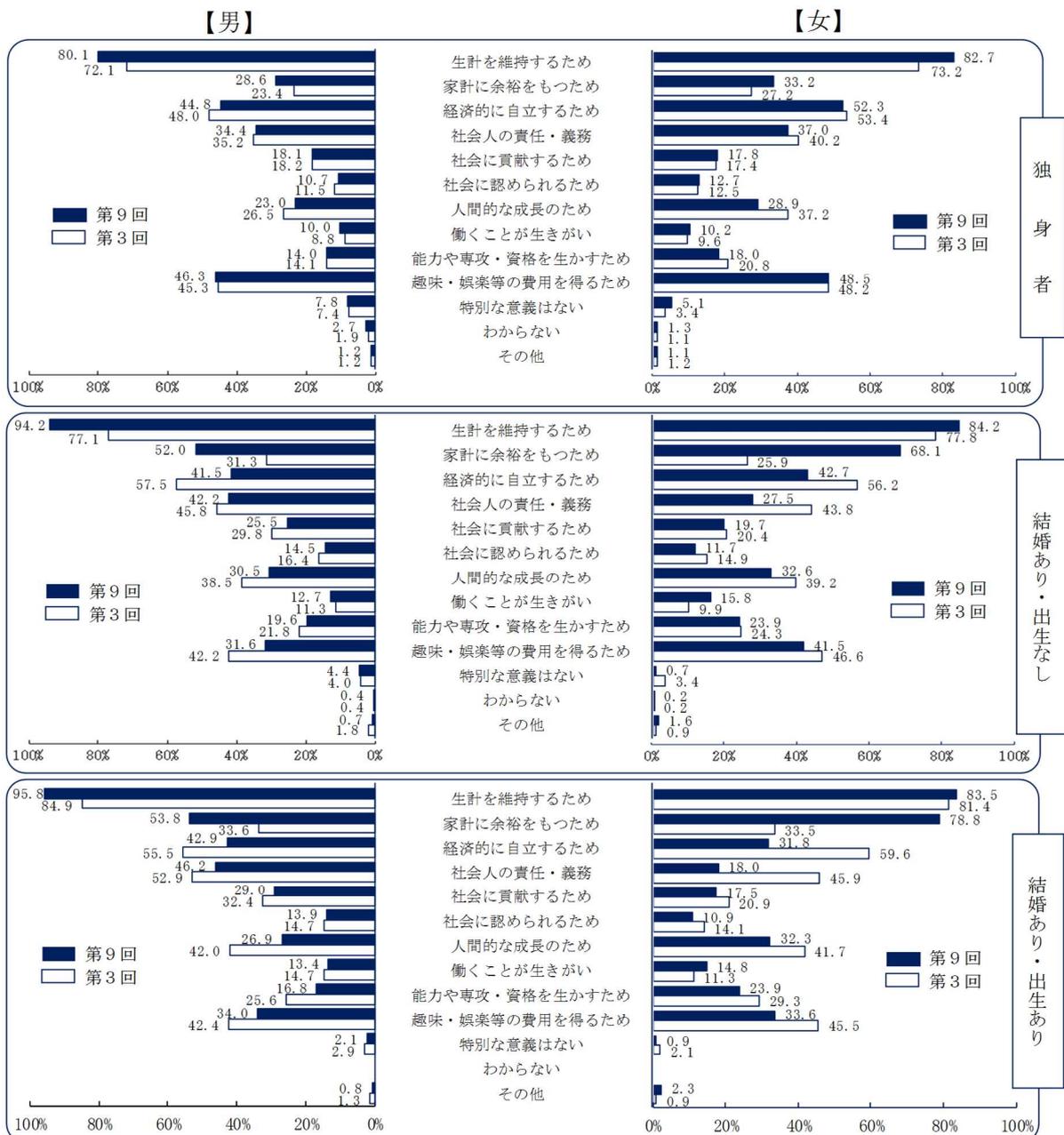
4)出産後の妻の就業状況の「総数」には、出産後の妻の就業状況不詳を含む。

4 職業観

この6年間の結婚・出生の状況別に第3回と第9回の職業観をみると、独身者は大きな差はないが、結婚、出生を経験した者は差が大きい

第1回調査時から第3回調査時まで独身であった者について、この6年間の結婚・出生の状況別に第3回の職業観と第9回の職業観をみると、独身者は男女ともに大きな差はみられないが、結婚あり・出生なしの男は「家計に余裕をもつため」の割合が増加し、「経済的に自立するため」の割合が減少、結婚あり・出生ありの男は「家計に余裕をもつため」の割合が増加し、「人間的な成長のため」の割合が減少している。女は結婚あり・出生なし、結婚あり・出生ありともに「家計に余裕をもつため」の割合が増加し、「経済的に自立するため」「社会人の責任・義務」の割合が減少している。(図6)

図6 性、この6年間の結婚・出生の状況別にみた第3回及び第9回の職業観（複数回答）



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。
2)結婚あり・出生ありの「わからない」には計数が無い。

参 考

1 集計対象の条件

第1回調査から第9回調査までの蓄積データ

集計対象の条件	図表番号
第1回調査から第9回調査まで継続して回答している者	/
第1回調査時の独身者	表 1
第1回調査時に20～29歳 ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離死別した者を除く	図 1
8年間（第1回調査から第9回調査）に結婚した者 ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離死別した者を除く	表 2
以下の(a)～(c)全てに該当する女性 (a) 結婚前に仕事あり (b) 第1回調査時に20～29歳、仕事あり、結婚意欲を「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」のいずれかと回答 (c) 第9回調査時の既卒者	図 4
以下の(a)又は(b)に該当する夫婦 (a) 第1回調査から第9回調査まで双方が回答している夫婦 (b) 第1回調査時に独身で第8回調査までの間に結婚し、結婚後第9回調査まで回答している夫婦	図 2
妻が第1回の「女性票」の対象者	図 3
妻が出産前に会社等に勤めており、かつ「女性票」の対象者で、この8年間に子どもが生まれた夫婦	表 3
妻が出産前に仕事ありで、かつ「女性票」の対象者で、この8年間に子どもが生まれた同居夫婦	表 4
以下の(a)かつ(b)に該当する女性 (a) 第1回調査時に20～29歳、仕事あり、14年調査においては子どもをもつ意欲を「絶対欲しい」「欲しい」「どちらとも言えない」「あまり欲しくない」のいずれか、かつ、希望子ども数を1人以上と回答、24年調査においては希望子ども数を1人以上と回答 (b) 第9回調査時の既卒者	図 5
第1回調査時から第3回調査時までの独身者	図 6

2 集計客体数一覧

表1 第1回調査時に独身であった者の性、年齢階級別にみたこの8年間の結婚の状況

性 第1回調査の年齢階級 (第9回調査の年齢階級)	総数	結婚した ²⁾³⁾								結婚して いない	
		第1回から 第2回間に 結	第2回から 第3回間に 結	第3回から 第4回間に 結	第4回から 第5回間に 結	第5回から 第6回間に 結	第6回から 第7回間に 結	第7回から 第8回間に 結	第8回から 第9回間に 結		
男	2 082	688	93	79	99	81	79	86	93	78	1 394
20～24歳 (28～32歳)	979	283	8	23	33	32	44	43	50	50	696
25～29歳 (33～37歳)	1 103	405	85	56	66	49	35	43	43	28	698
女	2 877	1 393	204	214	187	193	177	167	135	116	1 484
20～24歳 (28～32歳)	1 417	645	51	69	76	97	99	101	79	73	772
25～29歳 (33～37歳)	1 460	748	153	145	111	96	78	66	56	43	712

注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 8年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3) 「結婚した」には、この8年間に、結婚した後離婚した者を含む。

図1 第1回調査時に独身であった者の性、この8年間の結婚の状況別にみた就業状況の変化【14年成年者・24年成年者】

性 この8年間の結婚の状況	就業状況の変化 ²⁾													
	14年成年者							24年成年者						
	総数	同一就業 継続	転職	新規就業	離職	無職継続	不詳	総数	同一就業 継続	転職	新規就業	離職	無職継続	不詳
男	2 237	1 586	137	66	53	148	247	2 080	1 492	267	49	41	163	68
結婚した	833	651	71	17	6	5	83	686	526	104	14	2	3	37
結婚していない	1 404	935	66	49	47	143	164	1 394	966	163	35	39	160	31
女	2 597	1 579	197	92	388	181	160	2 873	1 856	449	58	264	170	76
結婚した	1 238	623	119	37	342	69	48	1 389	796	250	25	234	36	48
結婚していない	1 359	956	78	55	46	112	112	1 484	1 060	199	33	30	134	28

注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 就業状況の変化は、「結婚した」は結婚前後の、「結婚していない」は第8回から第9回間の就業状況の変化である。

3) 8年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図2 夫婦におけるこの8年間の出生の状況

	総数	出生あり	出生なし		
			すでに 子ども あり	子どもなし	
第1回からの夫婦	299	183	116	102	14
第2回からの夫婦	275	250	25	6	19
第3回からの夫婦	271	232	39	9	30
第4回からの夫婦	261	217	44	2	42
第5回からの夫婦	262	210	52	8	44
第6回からの夫婦	240	160	80	12	68
第7回からの夫婦	235	117	118	14	104
第8回からの夫婦	200	47	153	18	135

注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 「第1回からの夫婦」とは、第1回調査時点ですでに結婚していた夫婦、「第2回からの夫婦」「第3回からの夫婦」「第4回からの夫婦」「第5回からの夫婦」「第6回からの夫婦」「第7回からの夫婦」「第8回からの夫婦」とは、当該調査回に結婚したと回答があった夫婦を計上している。

図3 この8年間の出生の状況別にみた妻の就業状況の変化【14年成年者・24年成年者】

この8年間の出生の状況	妻の就業状況の変化 ²⁾													
	14年成年者							24年成年者						
	総数	同一就業 継続	転職	新規就業	離職	無職継続	不詳	総数	同一就業 継続	転職	新規就業	離職	無職継続	不詳
総数	1 204	436	35	55	183	452	43	1 354	745	127	42	158	274	8
出生あり	766	204	15	18	159	354	16	919	465	73	24	129	222	6
出生なし	438	232	20	37	24	98	27	435	280	54	18	29	52	2

注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 妻の就業状況の変化は、「出生あり」は出生前後の、「出生なし」は第8回から第9回にかけての就業状況の変化である。

表2 第1回調査時に独身でこの8年間に結婚した者の性・仕事の有無・就業形態別にみた結婚前後の状況

(単位:人)

性 結婚前の仕事の有無・就業形態	総数	結婚後の仕事の有無・就業形態										仕事なし	不詳
		仕事あり	就業形態										
			会社などの 役員・自営 業主	自家営業 の手伝い	自宅での賃 仕事(内職)	正規の 職員・ 従業員	アルバイト・ パート	労働者 派遣事業所 の派遣社員	契約社員 ・嘱託	その他	不詳		
男	686	678	39	13	2	580	11	2	12	7	12	5	3
仕事あり	668	663	38	13	2	569	10	2	11	6	12	2	3
会社などの役員・自営業主	39	39	24	-	-	13	1	-	-	-	1	-	-
自家営業の手伝い	13	13	1	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-
自宅での賃仕事(内職)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
正規の職員・従業員	549	545	9	-	1	521	1	-	5	1	7	2	2
アルバイト・パート	14	14	1	-	-	5	6	-	1	1	-	-	-
労働者派遣事業所の派遣社員	5	5	1	-	-	-	1	2	1	-	-	-	-
契約社員・嘱託	18	18	-	-	-	11	1	-	4	1	1	-	-
その他	6	6	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-
不詳	24	23	2	2	1	14	-	-	-	1	3	-	1
仕事なし	17	14	1	-	-	10	1	-	1	1	-	3	-
不詳	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
女	1 389	1 111	31	15	1	787	147	36	75	12	7	273	5
仕事あり	1 314	1 076	30	14	1	777	134	33	69	11	7	234	4
会社などの役員・自営業主	32	27	13	-	-	12	2	-	-	-	-	4	1
自家営業の手伝い	8	7	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-
自宅での賃仕事(内職)	4	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-
正規の職員・従業員	949	808	14	2	1	714	47	6	17	4	3	138	3
アルバイト・パート	138	91	1	1	-	12	65	4	8	-	-	47	-
労働者派遣事業所の派遣社員	39	27	2	-	-	3	2	17	2	-	1	12	-
契約社員・嘱託	102	77	-	2	-	13	13	6	40	3	-	25	-
その他	10	9	-	-	-	3	1	-	2	3	-	1	-
不詳	32	28	-	2	-	20	2	-	-	1	3	4	-
仕事なし	61	25	1	1	-	4	12	3	4	-	-	36	-
不詳	14	10	-	-	-	6	1	-	2	1	-	3	1

注:1)集計対象は、9頁「参考」を参照。
2)8年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図4 この8年間に結婚した女性(結婚前に仕事あり)の第1回の結婚後の就業継続意欲別にみた結婚後の就業状況【14年成年者・24年成年者】

(単位:人)

第1回の結婚後の就業継続意欲	結婚後の就業状況									
	14年成年者					24年成年者				
	総数	同一就業 継続	転職	離職	不詳	総数	同一就業 継続	転職	離職	不詳
総数	998	556	96	299	47	1 088	667	199	191	31
結婚した後も続ける	437	295	29	92	21	492	348	73	51	20
結婚を機にやめる	209	84	34	88	3	208	87	53	63	5
考えていない	319	154	32	111	22	340	201	63	70	6
不詳	33	23	1	8	1	48	31	10	7	-

注:1)集計対象は、9頁「参考」を参照。
2)「結婚後の就業継続意欲」は、第1回調査時の状況である。
3)8年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図5 この8年間に子どもが生まれた同居夫婦(出産前に妻に仕事あり)の第1回の出産後の就業継続意欲別にみた出産後の妻の就業状況【14年成年者・24年成年者】

(単位:人)

第1回の出産後の就業継続意欲	出産後の妻の就業状況									
	14年成年者					24年成年者				
	総数	同一就業 継続	転職	離職	不詳	総数	同一就業 継続	転職	離職	不詳
総数	418	236	15	146	21	463	337	43	80	3
出産した後も続ける	189	136	10	36	7	184	159	12	13	-
出産を機にやめる	98	37	4	51	6	92	52	13	27	-
考えていない	97	42	-	48	7	163	108	14	38	3
続けるかどうか考えていない	158	104	14	37	3
今後の出産は考えていない	5	4	-	1	-
不詳	34	21	1	11	1	24	18	4	2	-

注:1)集計対象は、9頁「参考」を参照。
2)「出産後の就業継続意欲」は、第1回調査時の状況である。
3)24年成年者の「考えていない」は、「続けるかどうか考えていない」「今後の出産は考えていない」と回答した者を集計している。
4)8年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

表3 この8年間に子どもが生まれた夫婦（出産前に妻に仕事あり）の出産前の妻の職場の育児休業制度の状況別にみた出産後の妻の就業状況

(単位：人)

育児休業制度の有無と利用にあたっての雰囲気	出産後の妻の就業状況				
	総数	同一就業継続	転職	離職	不詳
総数	642	453	63	124	2
制度あり	500	408	45	45	2
利用しやすい雰囲気がある	382	326	24	30	2
利用しにくい雰囲気がある	41	29	5	7	-
どちらともいえない	69	48	14	7	-
不詳	8	5	2	1	-
制度なし	58	8	5	45	-
制度があるかないかわからない	76	32	13	31	-
不詳	8	5	-	3	-

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。
2)8年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
3)育児休業制度の「あり」「なし」とは、利用可能な育児休業制度があるかどうかをいう。

表4 この8年間に子どもが生まれた同居夫婦（出産前に妻に仕事あり）の出産後の夫の家事・育児時間（平日・休日）別にみた出産後の妻の就業状況

(単位：人)

出産後の夫の家事・育児時間	出産後の妻の就業状況				
	総数	同一就業継続	転職	離職	不詳
平日	597	416	65	112	4
家事・育児時間なし	34	17	4	13	-
2時間未満	289	198	35	55	1
2時間以上4時間未満	183	132	16	34	1
4時間以上	65	50	7	7	1
不詳	26	19	3	3	1
休日	597	416	65	112	4
家事・育児時間なし	4	3	-	1	-
2時間未満	85	56	11	17	1
2時間以上4時間未満	132	86	15	31	-
4時間以上	357	257	38	60	2
不詳	19	14	1	3	1

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。
2)8年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図6 性、この6年間の結婚・出生の状況別にみた第3回及び第9回の職業観（複数回答）

(単位：人)

性 職業観	第3回					第9回				
	総数	独身者	結婚した	出生あり	出生なし	総数	独身者	結婚した	出生あり	出生なし
男	1 907	1 394	513	238	275	1 907	1 394	513	238	275
生計を維持するため	1 419	1 005	414	202	212	1 603	1 116	487	228	259
家計に余裕をもつため	492	326	166	80	86	670	399	271	128	143
経済的に自立するため	959	669	290	132	158	840	624	216	102	114
社会人の責任・義務	743	491	252	126	126	705	479	226	110	116
社会に貢献するため	413	254	159	77	82	392	253	139	69	70
社会に認められるため	241	161	80	35	45	222	149	73	33	40
人間的な成長のため	575	369	206	100	106	468	320	148	64	84
働くことが生きがい	188	122	66	35	31	207	140	67	32	35
能力や専攻・資格を生かすため	317	196	121	61	60	289	195	94	40	54
趣味・娯楽等の費用を得るため	849	632	217	101	116	813	645	168	81	87
特別な意義はない	121	103	18	7	11	126	109	17	5	12
わからない	28	27	1	-	1	38	37	1	-	1
その他	25	17	8	3	5	21	17	4	2	2
不詳	19	15	4	2	2	10	9	1	1	-
女	2 452	1 484	968	532	436	2 452	1 484	968	532	436
生計を維持するため	1 859	1 087	772	433	339	2 039	1 228	811	444	367
家計に余裕をもつため	695	404	291	178	113	1 208	492	716	419	297
経済的に自立するため	1 354	792	562	317	245	1 131	776	355	169	186
社会人の責任・義務	1 032	597	435	244	191	765	549	216	96	120
社会に貢献するため	458	258	200	111	89	443	264	179	93	86
社会に認められるため	326	186	140	75	65	297	188	109	58	51
人間的な成長のため	945	552	393	222	171	743	429	314	172	142
働くことが生きがい	245	142	103	60	43	300	152	148	79	69
能力や専攻・資格を生かすため	570	308	262	156	106	498	267	231	127	104
趣味・娯楽等の費用を得るため	1 161	716	445	242	203	1 079	719	360	179	181
特別な意義はない	77	51	26	11	15	83	75	8	5	3
わからない	18	17	1	-	1	21	20	1	-	1
その他	27	18	9	5	4	35	16	19	12	7
不詳	17	15	2	-	2	12	11	1	-	1

注：集計対象は、9頁「参考」を参照。

用語の定義

- 1 「**独身者**」又は「**独身であった者**」とは、「配偶者なし」と回答した者をいい、未婚、離別及び死別は区別していない。また、「子どもあり」の者も含まれる。
- 2 就業状況の変化とは、調査時点をA時点、B時点（A時点<B時点）としたときの、仕事の有無及び就業形態について比較したものであり、次の変化の状況をいう。

同一就業継続	……	A時点、B時点において、勤め先、及び就業形態が変わっていないこと、また、自ら行っている事業が変わっていないことをいう。
転職	……	B時点で、A時点とは勤め先または就業形態が異なっていることをいう。
新規就業	……	A時点で仕事なし、B時点で仕事ありのことをいう。
離職	……	A時点で仕事あり、B時点で仕事なしのことをいう。
無職継続	……	A時点で仕事なし、B時点で仕事なしのことをいう。
- 3 「**夫婦**」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者も含む。
- 4 「**仕事あり**」とは、調査日現在、所得を伴う仕事(学生アルバイトも含む。)についていることをいう。また、調査日現在、仕事についているが、休業中（育児休業、介護休業）である場合も含む。
- 5 「**既卒**」とは最終学歴が「卒業」となっていることをいう。
- 6 「**結婚後の就業継続意欲**」とは、14年成年者、24年成年者において「結婚した後も現在の仕事を続けますか。」と質問したものである。
- 7 「**出産後の就業継続意欲**」とは、14年成年者、24年成年者において「出産した後も現在の仕事を続けますか。」と質問したものである。
- 8 「**育児休業制度の状況**」とは、勤め先の会社等において、自分の就業形態で利用可能な育児休業制度があるかどうか、ある場合は、利用にあたっての雰囲気はどうかを質問したものである。
- 9 「**家事・育児時間**」とは、1日の中で家事や育児に何時間くらい費やしているかを、平日と休日に分けて質問したものである。
- 10 「**職業観**」とは、第3回、第9回調査において、働くことに関する考え方を質問したものである。
- 11 「**8年間**」とは、第1回調査から第9回調査までの間のことをいう。
- 12 「**6年間**」とは、第3回調査から第9回調査までの間のことをいう。